

子どもの人物画 (その2)

— 4才児の家族画を中心に —

吉 駒 さ と み

昨年、本紀要第5号に子どもの人物画(その1)として、3年保育年少児(以下3才児と称す)の家族画についてのべたが、今回は3年保育年中児・2年保育年少児(以下4才児と称す)に成長して家族をどうとらえ、表現するか、人物をどう描くか3才児との比較とともにみてみたい。

1 研究の対象

高松市春日町 学校法人四国高松学園 高松東幼稚園

4才児 111名(男子58名・女子53名)

幼稚園は市内郊外の河川に隣接した場所にあり、自然に恵まれた田園の中に位置する。通園区域は、ほとんどが幼稚園を中心とした近くの住宅地であり、交通事情のためスクールバスで登園しているものが多い。保護者の職業は、会社員、公務員、銀行員、教員等が多く、一部に商店、工場等の自営が含まれる。子どもの教育には関心が深く、熱心な父母が多い。共働きは10%程度である。

2 研究の時期

昭和50年11月下旬～12月上旬

3 研究の手続

クラスごとに下記の資料と指示のことばで家族をかかせた。

資料：画用紙4ツ切(38.5cm×54cm)、クレパス(エンゼルビッグパス 超ふとまき16色)

指示：T—みんなのおうちには誰がいるかな。

C—パパ、ママ……………。

T—そう、ではみんなのおうちの人をここに書いてみよう。おうちの人全部かくのよ。

何色でも自由に使わせ、線がきでも色をぬってもよいことにした。3才児とちがってかけないものや、指示がわからないものは1人もいなかったが、顔だけしかかかないものや、太陽や雲、基底線等をかこうとするものも一部にはいたが、ほめことばやはげましのこと

ばの他は「おうちの人をかくのよ。」という助言を与えるのみとした。時間は約40分として、かき上ったものから順に、「これはだれ?」ときいてゆきメモした。

4 研究の結果と考案

第1表により、3才児と4才児の家族画を比較してみると、生れ月や性格、環境等により個人差はあるが1年前のものとは一段の進歩がみられる。

ほとんどのものが全身をかくようになる。身体の特徴や形など細かい部分までとらえてかくようになる。また色をぬるものがふえる。3才児では色をぬっても全身ぬりつぶしたり、手あたり次第に色ぬりをするものが一部分いたのが、4才児では身体の部分、洋服のぬりわけも器用にできるようになる。かかれる人数も、自分の家族の人数とほぼ同数かくものが多い。3才児では、家族をかくようにいわれても、人物画そのものがかけないものもいるし、かけても感覚でそれをとらえ、表現されることが多く、自分の一番身近かなものを画面いっぱいにかき、あとはつけたしといったものが多いが、4才児になると家族全員を画面の中に要領よく構成することができるようになる。

第1表

	かけない	頭 足 人	顔のみかく	全身をかく	計
3才児	12人 (14.1)	19人 (22.3)	14人 (16.5)	40人 (47.1)	85人 (100)
4才児	1 (0.9)	4 (3.6)	11 (9.9)	95 (85.6)	111 (100)

() 内は%

次に男女別にみても、第2表のようになる。女子の方はかけないものや、頭から手足をかくような頭足人にかくものはいなかった。男子の方は、女子に比較して人物が十分かけないものもいるが、形はいびつでも、力づよく感覚でとらえた特徴をよく表現している。色彩では男子の方が青、緑、茶等の寒色系を中心に使用し、女子は赤、黄、橙、桃等の暖色系を好んで使っているようである。また女子の中には髪を長くしたり、洋服のまよう等をかいたり、太陽、花、基底線をかいたりするものがみられた。

第2表

	かけない	頭 足 人	顔のみかく	全身をかく	計
4才男子	1人 (1.7)	4人 (6.9)	8人 (13.8)	45人 (77.6)	58人 (100)
4才女子	0 (0)	0 (0)	2 (3.8)	96 (96.2)	53 (100)
計	1 (0.9)	4 (3.6)	10 (9.0)	96 (86.5)	111 (100)

() 内は%

次に個人別に男女にわけて、生れ月と家族、そして子どものかいた家族数を一覧表にしたのが第3表である。これにより、4才児では3才児ほど生れ月により差がみられなかったが、1、2、3月のおそ生れのものは全身の人物がかけても線が弱かったり、色のぬり方が雑だったりするものが一部にみられた。また男女別にみた場合に、第3表—1、第3

第3表-1 (男子)

番号	氏名	生年月日	家族の人数	かゝれた人数	備考
1	N	45.4.5	4	2	全身、父母のみかく、真赤な洋服
2	K	4.29	4	3	全身、父のみ色ぬり
3	K	5.1	4	4	全身、洋服色ぬり、父のメガネをかく
4	K	5.3	6	6	全身、身体を小さく6人ならべてかく
5	M	5.8	4	4	全身
6	K	5.26	3	3	全身、カラフルな色ぬり
7	Y	5.29	3	3	全身、色ぬり
8	T	5.29	5	4	全身、色ぬり
9	K	6.7	4	5	全身、父の友人と家にかく
10	M	6.12	4	4	全身、線がき
11	D	6.12	4	5	顔のみ、色ぬり
12	W	6.14	4	1	人物らしいものをかきぬりつぶす
13	I	6.30	4	4	顔のみ、色ぬり
14	K	7.3	4	4	父母全身、あとは顔のみ、色ぬり
15	Y	7.20	4	4	全身、線がき
16	G	7.24	4	3	全身、ていねいな色ぬり
17	I	7.27	3	3	全身、ていねいな色ぬり、形もとのっている
18	T	7.29	4	3	全身、
19	I	8.2	6	6	顔のみ、のびのびとした線がき
20	F	8.5	4	3	全身、洋服カラフルな色ぬり
21	N	8.7	5	2	全身、父母のみかく
22	S	8.13	6	2	全身、祖父と自分のみ線がき
23	M	8.14	4	3	全身、洋服、バック色ぬり
24	T	8.15	4	4	全身、顔のみ色ぬり
25	S	8.17	4	4	顔のみ、ていねいな色ぬり
26	N	8.27	6	5	全身、洋服カラフルな色ぬり
27	K	9.9	4	13	顔のみ、線がき親せきの人等かく
28	N	9.14	7	5	全身、洋服カラフルな色ぬり
29	K	9.26	3	3	全身、ていねいでカラフルな色ぬり
30	Y	10.5	4	6	全身、線がき、特徴をよくとらえてかく
31	M	10.10	4	4	全身、線がき
32	M	10.14	4	4	全身、洋服カラフルな色ぬり
33	T	10.14	4	4	頭足人、線がき
34	N	10.24	4	3	顔のみ、色ぬり
35	Y	11.16	4	2	全身、線がき、父、母、ネコをかく
36	F	11.22	5	5	全身、カラフルな色ぬり
37	K	11.30	4	3	頭足人、線がき
38	S	12.15	6	2	顔のみ、色ぬり
39	H	12.22	4	4	全身、洋服の色ぬり
40	N	12.22	4	4	全身、父、母メガネをかく
41	I	12.26	4	4	全身、顔のみ色ぬり
42	F	12.29	4	4	顔のみ、色ぬり
43	K	46.1.4	4	3	全身、母と本人が中心
44	K	1.5	4	4	全身、線がき
45	N	1.7	4	4	全身、母のみ、あとは顔のみかく
46	E	1.7	4	3	顔のみ、色ぬり
47	M	1.18	5	4	全身、母を中心に大きくかく
48	Y	1.19	4	4	全身、ていねいにカラフルな色
49	O	2.5	4	4	全身、色、形ともにのびのびと元気よい
50	T	2.9	5	4	頭足人、線がき
51	K	2.10	4	4	全身、洋服の色ぬり
52	H	2.11	4	4	全身、父のみ大きい、弱い線がき
53	S	2.18	4	3	全身、カラフルな色ぬり
54	H	2.18	4	3	全身、線がき
55	N	2.19	4	3	全身、色ぬり
56	K	2.24	4	5	全身、色ぬり、線が弱い
57	W	3.18	4	1	全身、小さく弱い線がき
58	T	3.20	5	4	全身、色ぬり

第3表-2 (女子)

番号	氏名	生年月日	家族の人数	かゝれた人数	備 考
1	M	45.4.2	4	4	全身、線がき
2	U	4.14	5	5	全身、家族の特徴をよくとらえ、カブよい色ぬり
3	M	4.21	4	4	全身、中心に小さくかく、色ぬり
4	F	5.11	3	3	全身、大きく、カラフルな色ぬり
5	N	5.13	5	4	全身、弱い色ぬり、基底線にかく
6	Y	6.8	6	6	全身、カラフルな線がき
7	U	6.22	5	5	全身、家族の特徴をよくとらえる
8	Y	6.23	5	5	全身、母中心に大きく、赤ちゃんうぼ車の中にある
9	Y	6.26	8	4	全身、ていねいな色ぬり
10	T	7.11	5	3	全身、母を赤でぬりつぶす
11	A	7.13	4	4	全身、左上に小さくかく
12	H	7.17	4	4	全身、画面いっぱい線がき
13	K	7.20	4	5	全身、右上に小さく線がき
14	M	7.25	4	4	全身、母を中心に大きくかく
15	S	7.27	4	4	全身、ていねいな色ぬり
16	K	7.29	4	4	全身、画面いっばいにカラフルな色ぬり、みんなの名前かく
17	N	8.4	4	4	全身、基底線上の左上に小さくかく
18	U	8.16	5	5	全身、ていねいな色ぬり
19	S	8.31	4	4	全身、線がき、左上に小さくかく
20	K	9.11	4	4	全身、弱い線がき、未完成
21	Y	9.15	5	1	顔のみ、父のみ大きく線がき
22	W	9.16	4	4	全身、カラフルな色ぬりみんなの名前かく
23	O	9.17	4	4	全身、大きな線がき
24	T	9.24	4	3	全身、カブよい線がき
25	K	9.25	4	6	全身、線がき、父が一番小さい
26	T	10.1	4	4	全身、基底線に母のみ大きくかき色をぬる
27	A	10.6	4	2	全身、家の中に母と妹のみかく
28	A	10.7	4	4	全身、カブよい色ぬり
29	T	10.17	4	4	全身、上部に小さくかく、カラフルな線がき
30	S	10.25	3	3	全身、弱い線がき
31	M	10.26	5	5	全身、線がき
32	W	10.31	4	4	全身、左上に小さく弱い線がき
33	S	11.6	3	4	全身、祖母を真中に大きくかく
34	Y	11.10	6	6	全身、色ぬり
35	O	11.10	5	1	母の顔を画面いっばいにかいて色ぬり
36	K	11.11	4	2	全身、父母のみかく
37	S	11.21	4	5	全身、カラフルな色ぬり、本人が一番小さい
38	F	11.24	5	4	全身、大きくカラフルな色ぬり
39	K	11.27	4	4	全身、中心にまとめて小さくかく
40	I	12.1	3	4	全身、カラフルな色ぬり、死んだ妹と星をかく
41	I	12.4	9	5	全身、カブよくカラフルな色ぬり
42	U	12.7	5	5	全身、カラフルな色ぬり
43	U	12.9	5	3	全身、線がき
44	N	12.19	3	4	全身、ていねいな色ぬり
45	U	12.21	3	3	全身、少しあらいがカラフルな色ぬり
46	S	12.28	3	6	全身、使用人のお姉さんを3人かく
47	F	46.1.20	5	5	全身、かくのに時間がかかる
48	H	1.24	4	4	全身、カブよい線がき
49	T	2.6	5	5	全身、右上に小さくかく
50	A	2.21	4	4	全身、母が大きく、手をひろげている
51	H	2.26	4	4	全身、線がき、全員が手をつなぐ
52	T	3.5	5	3	全身、線がき、全員が手をつなぐ
53	N	3.30	4	4	全身、大きくのびのびとした線がき

表一2と第2表を合わせてみるとよくわかるように形、色、家族のとらえ方に大きな差がみられる。

次に事例別にみてみたい。一枚一枚子どものとらえた家族や家族のようすがうかがえ、またそれぞれ人物画の発達のがみられ心動かされる作品ばかりであったが、紙面の都合で一部しかとりあげられなかったのは残念である。

作品1 K・T 5才4ヶ月 男子

Kは昨年事例(作品2)としてとりあげたのであるが、当時妹ができたばかりで家族の中心が赤ちゃんの方へゆき、退行現象がみられ、なぐりがきのような形でしか家族画がかけなかった。またかいた上をクレパスでぬりつぶしてしまった。一年後のKの作品は父、母にかこまれた自分と妹を画面いっぱいのにびのびと表現している。とくに顔の部分はていねいにかかれ、肌色で色ぬりされている。長いうでの先に丸い手がついているところや、細長い身体と省略された洋服、足の部分がKの特徴である。父、母、本人、妹と大きさを考えて彼なりに画面に構成しているのも成長のあとがみられる。

作品2 T・O 4才10ヶ月 男子

Tの家庭は、父、母、兄、本人の4人家族である。父は公務員、母がとくに教育熱心で絵、音楽、硬筆等のけい古ごとに通っている。とくに絵が好きであるという。性格的には自我がつよく、自分のことは何でもできるしっかりものの反面末っ子の甘えんぼうでもある。Tは2月生れでクラスの中でもおそ生れの方である。作品は少しあらっぼいが、力づよくのびのびとした線で明るい家族のようすが感じられる絵である。パッチリした目の父は青いスマートなズボンに太いベルトをしめているし、やさしそうな目の母はまっ赤なベストにひろがったスカートをはいている。3才児の作品にくらべ、顔の特徴、洋服の形まで細かくとらえられるようになったことがわかる。時間とスペースの都合で兄と本人が十分にかけなかったのは残念である。

作品3 S・I 4才11ヶ月 女子

Sは、父、母、兄、弟、本人、祖父母、おじ、おばが同居している。電気製品の会社を自営している大家族の中で育ったSは、兄、弟にかこまれたオシャマでしっかりした女の子である。のんびりした母はいつも兄より本人の方をほめる。左から父、弟と1人おいて本人、母とならび、まん中は彼女のお気に入りの会社のお姉さんである。女の子らしいカラフルで丸味のある人物画である。上部をそろえ、大人と子どもの大きさを下で調節した表現をしている。お父さんは青い上衣と緑のズボン、弟は肌色と緑、お姉さんはピンクの洋服、本人はオレンジ、お母さんはまっ赤の洋服に前に大きなエプロンをつけている。またお姉さんとお母さんはくっきりと赤い口、お姉さんのしゃれたピンクのくつ、丸い袖等女の子らしい細かい観察がみられる。

作品4 H・K 5才3ヶ月 男子

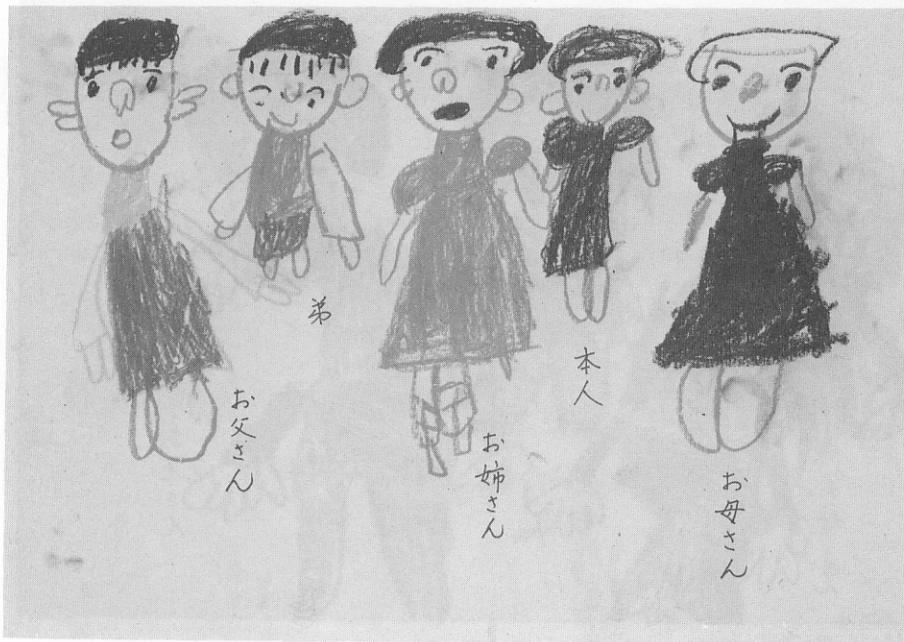
Hは会社員の父と母、本人の3人家族で1人っ子である。母は1人っ子のHの自主性を育てよう躰けているというが、口やかましくいうと甘い父の方へにげていくという。本人はしっかりしてよく発言もするが、気弱な面も合わせもっている。彼は絵をかくことが好きである。Hの作品をみて心動かされるのは顔の表情や手足の細かいとらえ方である。身体全体のバランスはともかく、父、母、本人のムードが実によくでている。



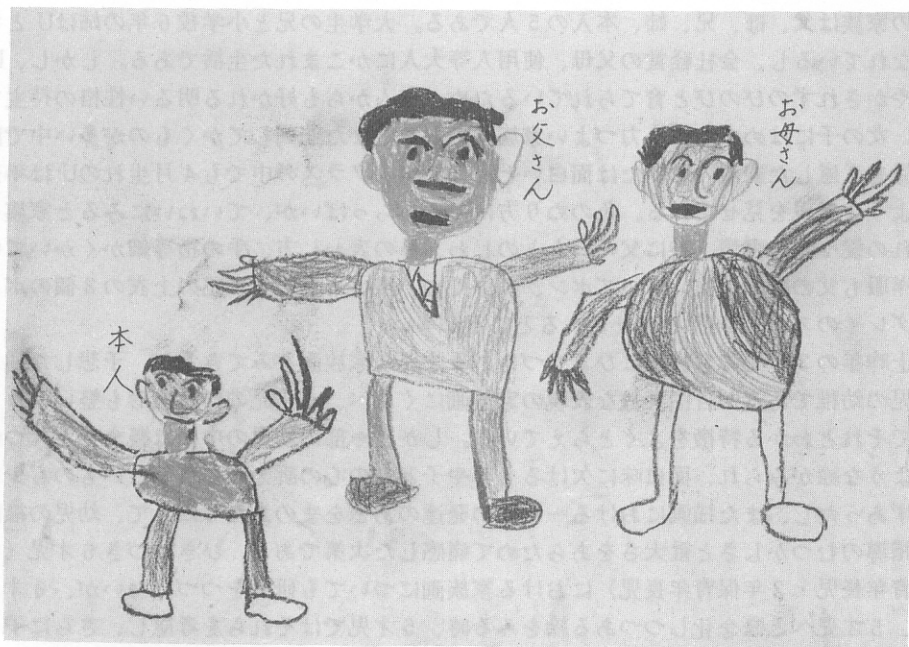
〔作 品 1〕



〔作 品 2〕



〔作品 3〕



〔作品 4〕



〔作品 5〕

作品 5 U・U 5才7ヶ月 女子

Uの家族は父、母、兄、姉、本人の5人である。大学生の兄と小学校6年の姉はUと年もはなれているし、会社経営の父母、使用人等大人にかこまれた生活である。しかし、Uは甘やかされずのびのびと育てられているため、友人からも好かれる明るい性格の持主である。女の子にはめずらしくかづよい家族画である。また並列してかくものが多い中で前後関係を考慮した表現のしかたは面白いと思う。年少クラスの中でも4月生れのUは年長児のような表現を見せている。色のぬり方はややあらっぽいが、ていねいにみると家族それぞれの髪や顔の表情、特に父の口もとのしわ、鼻の表わし方、手の指等細かくかいている。洋服も父の緑の上衣、青いズボン、黒いくつ、黒いネクタイ、兄の上衣の2個のボタン、グレイのズボン等感心させられるところが多い。

以上昨年の3才児の家族画にひきつづき、4才児の家族画をみてきたが、予想した通り3才児の幼稚であるが自由奔放な表現の家族画にくらべ、4才児の作品は形も整い、カラフルでそれとわかる特徴をよくとらえている。しかし一部の幼児の中には概念化されつつあるような絵がみられ、面白味に欠けるものや子どもの心の訴えがでていないものも少なからずあったし、また描画における一年間の発達のあとをまのあたりにして、幼児の絵画製作指導のむつかしさと重大さをあらためて痛感した次第である。ひきつづき5才児（3年保育年長児・2年保育年長児）における家族画についても研究をつづけたいが、3才、4才、5才児へと概念化しつつある絵をみる時、5才児ではそれらを考慮し、さらに子どもたちの絵の発達からみて、E M. Koppitjの家族画やHFDに加えてR.C.Burns and S.H.KKaufmanのK-F-Dを試みてみたい。

高松短期大学研究紀要

第 6 号

昭和 51 年 3 月 1 日印刷

昭和 51 年 3 月 10 日発行

編集発行 高松短期大学
〒761-01 高松市春日町 960

印刷 新日本印刷株式会社
高松市木太町 2158